

ゆずり葉コミュニティ臨時役員会会議録

日 時 平成19年4月17日（火） 10:00～12:00
場 所 ゆずり葉コミュニティルーム
出席者 14名
議 長 国司事務局長（戸田代表都合により欠席）
記 録 総務 道之前

議題

1. 第5号議案平成19年度活動計画の総合活動計画及び代表選出について国司議長は4月7日の定例役員会において、中村一雄氏に代表候補を受けて頂く条件に、平成19年度総合活動計画を書き直したいとの意向があったので、中村氏と協議のうえ草案を作成した旨述べ、中村氏に説明を求めた。

中村氏は総合活動計画1について、ゆずり葉コミュニティをまちづくり協議会にするには、住民自治会が役員でないといけない。それは議決権の問題であり、議決権を基本にしておかないといけない。まちづくり協議会は議決権と執行機関をきちり押さえておく必要がある。コミュニティ活動はみんなが楽しく、お互いにゆずりあって行くのが基本で、会則は簡潔にしておき上手く運営して行くことが大事である。

組織改革は根元に関わるので、4千世帯を対象に考えないといけない。まちづくり協議会は実践活動が必要で、会則を直せばよいと云うものではなく、画に描いた餅であってはならない。

答申（組織・運営改革諮問委員会答申）を引き続きやってくれと云われても出来ない。長（自治会長等）をあつめて、新しくやて行く旨説明した。

説明に対する開陳があり、中村氏の云われていることは全て答申に書いてある。答申を尊重して組織改革の検討を進めて欲しい旨の主張があった。その結果「創設準備委員会に則して」を削除することで双方了解し、一同了承した。

更に県民交流広場事業の整備・活動プログラムを準備及び執行するために、「県民交流広場事業実施協議会」を「県民交流広場事業実施推進委員会」に改めることを全会一致で了承した。

その他これまでの実行委員会形式を、それ以前の部会方式に戻して、事務処理の集中的負担を解消する旨の説明があった。

国司議長は、中村氏を代表候補に選出する賛否を一同に求め、絶対多数の拍手で選出を承認した。

2. 平成19年度役員候補（第4号議案）について

別紙の役員候補を精査して、青葉台ブロック代表が未定であるので空欄にしておく。会計に「県民交流広場事業担当千秋良雄」を追加し、一部削除することを確認了承した。

3. 会計予算案特別会計について

第6号議案の特別会計は別紙会計予算（案）に基づき、1拠点施設運営協力金積立金は18年度ざんごかに収入90,000円を加え残高309,425円、2県民交流広場事業整備費補助金は18年度残額に収入6,900,000円を加え支出8,590,160円、活動費補助金は18年度0で収入支出とも1,220,000円、3ふれあいいきいきサロン事業は18年度残高6,943円に収入50,000円を加え支出56,943円を異議なく承認した。

以上